

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	船橋市立大穴小学校 船橋市大穴南2-7-1 電話047-465-2531
テーマ	「それぞれの立場から見た大穴小」
実施形態 実施主体	全体会、意見交換会を実施 学校が主体となり実施
日時 会場	平成29年10月4日(水) 13:30~15:00 船橋市立大穴小視聴覚室
日程 流れ・進行	<p>校長挨拶(来賓紹介を含む) 13:31~</p> <p>来賓挨拶 13:35~</p> <p>・教育振興部 次長 櫻井博幸様</p> <p>参加者紹介 13:40~</p> <p>意見交換会 13:43~</p> <p>・地域代表 田淵章治様 ・保護者代表 古市庸子様 高良愛様</p> <p>・地域スポーツ代表 川上忠様 ・ボランティア代表 山田季夫様</p> <p>・卒業生代表 駒水太一様 ・教職員代表 浅沼一志 (全体進行:教頭)</p>
参加者	教職員 5名 保護者 16名 地域住民 4名 計 25名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を直接依頼 ・学校便り
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会の前半で各代表者(地域、保護者、ボランティア、卒業生、職員)が話題提供することにより、後半の意見交換会が活発に行われていた。
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大穴小の児童は、社会性があり素直で優しい子が多い。その反面、打たれ弱さを感じる。 ・小規模校のためか、子供同士が仲良し。また、スポーツや図工等で学校の代表となる機会が多く、自分の得意分野に自信が持てる。 ・親子2世代で大穴小にお世話になっている。土日の校庭で子供と一緒に遊ぶことができ、親子にとって学校が学習の場、安らぎの場、生活の場となり学校とのつながりを強く感じる。 ・保護者と教員との関係も良いため、安心して学校に送り出すことができる。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面では、指導法改善と家庭学習の習慣化に取り組み、学力の向上のために努力を続けていて、成果が見られている。 ・学校・保護者・地域の三者が一体となる「チーム大穴」の力を

	発揮していきたい。
その他 (テーマの背景、学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none">・意見交換会では、参加者同士がそれぞれの立場から「大穴小の将来」について活発な意見交換をしているのが印象的だった。また、地域と学校が連携して「より良い学校にしよう」とする気持ちが話し合いをする姿から伝わってきた。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	八千代市立米本南小学校 八千代市米本2301 電話047-488-1106
テーマ	発達段階に応じた子育て ～子供たちの声に耳を傾けよう～
実施形態 実施主体	授業参観、パネルディスカッション、グループ討議 学校が主体となり実施
日時 会場	平成30年1月31日(水) 14:30～16:30 八千代市立米本南小学校職員室(集会隊形に会場をレイアウト)
日程 流れ・進行	午前中～5校時まで 1日授業参観 5校時 13:30～14:15 下校指導 14:15～14:25 (1～5年生完全下校) 開会行事 14:30～ 第1部<子供たちの声に耳を傾けよう> 14:40～15:25 第2部<学年別グループ討議> 15:35～16:15 第3部<グループ討議報告> 16:15～16:25 閉会行事 16:30 ※16:35終了
参加者	教職員 12名 保護者 20名 教育関係者 3名(県教委2名、市教委1名) 地域住民 3名(学校評議員) スクールガード 1名 6年生児童20名 ※第1部のみ参加 合計59名
広報	12月学校だより、1月開催通知文書、地域への回覧文書
内容	第1部<子供たちの声に耳を傾けよう> 14:40～15:25 6年生児童全員参加のパネルディスカッション ※第1部終了後、6年生児童は下校 第2部<学年別グループ討議> 15:35～16:15 第1部を受けて、子供たちの意見から考えること・子育ての 悩み・学習面・生活面・地域との連携について協議する。 第3部<グループ討議報告> 16:15～16:25
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ集会に児童が参加し、子供たちの声を聴き地域について考える機会はなかなか持てないので、とても貴重な時間となった。 ・地域住民がやっていること(パトロールや読み聞かせ活動)をもっと上手に子供たちにもアピールして、連携を図っていきたい。 ・小規模校なりの良さを十分に生かし、今後も連携を図っていきたい。(あいさつや子供たちの見守りができる地域の教育力を向上させる)

教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの声を聴き、成長できた姿に感動した。子供たちは予想もしなかった意見や考えを持っていて驚いた。(自分のふるさとでもある) 米本地域を、もっともりあげていきたい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生児童が参加するパネルディスカッション方式での第1部の進行。 ・地域との連携し一体となって子供たちを育てていくための話し合いを行った。地域の方々は、6年生の成長ぶりに驚くと共に、地域と学校の連携の在り方について再度検討するとのこと。保護者からは次年度以降も児童に参加してもらい、地域について共に考えたいとの要望もあった。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	松戸市立河原塚小学校 松戸市河原塚47-1 電話047-392-5100
テーマ	「地域とともに歩む安全教育について」
実施形態 実施主体	音楽会の公開、グループ討議 学校が主体となり実施
日時 会場	平成29年10月21日(土) 11:30~14:00 松戸市立河原塚小学校体育館及び生活科室
日程 流れ・進行	音楽会公開(4校時) 11:45~12:15 ミニ集会 13:00~14:00 地域住民(町会長、防災担当、見守り隊、主任児童委員)、保護者(PTA役員、PTA校外指導委員会)、学校評議員との意見交換、全体進行は本校教頭
参加者	教職員 4名(校長、教頭、教務、安全主任) 地域住民 11名 保護者 6名 学校評議員 1名
広報	・保護者宛て通知 ・学校だよりに掲載し地域にも回覧 ・学校のHPに掲載
内容	・学校での安全指導、安全教育の取組と児童の実態 ・登下校の様子と校外委員、学級委員、見守り隊の活動 ・家庭での様子、地域での過ごし方について協議
保護者や地域 の方々の意見	・3月の事件から登下校時の見守り強化、学校と地域で連携して子どもたちを見守る。 ・進んで挨拶ができる子が多く、元気がもらえる。 ・地域には、見通しが利かない、暗いなど危険箇所がある。 ・災害から身を守る資質能力を育てていきたい。11月11日の総合防災訓練参加の呼びかけ
教職員の意見	・避難訓練を様々な状況で行うことで、一人一人の防災意識、安全意識を高めていく。 ・地域で子どもたちを育ててほしい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	・見守り隊の増員と児童のできるだけ集団での登下校 ・子ども110番の家の活用 ・安全、防災の日常化、意識化 ・学校・PTA・地域と連携して要望していくことの必要性の確認

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	柏市立土南部小学校 柏市新逆井1-10-1 電話04-7172-4709
テーマ	見つめ直そう親子のコミュニケーション 「子どもの睡眠と生活習慣」
実施形態 実施主体	講演会、グループ討議を実施 学校とPTAが主体となり実施
日時 会場	平成29年10月26日(火) 11:00~12:30 柏市立土南部小学校 体育館
日程 流れ・進行	11:00~11:50 「子どもの睡眠と生活習慣」講演 11:55~12:15 ①グループ協議 ②まとめ 教頭 12:15 来賓あいさつ(感想) 12:20~12:30 教頭の話
参加者	保護者 48名 教員 3名 来賓 4名 合計55名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を直接依頼 ・通知文 ・広報紙
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠について常識と思っていたことが実は違うという内容を講演していただいた。 ・講演内容を参加者同士で共有することにより、知識を更に深めることができた。
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報が発信される時代で、今まで自分が正しいと思っていたことが実は悪い影響を与えているということが分かった。 ・睡眠について正しい知識を学ぶことができた。 ・今日のことをこれからに日常生活に活かしていきたい。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・講演内容が充実していたのでためになった。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が定着していない児童が多いので、その原因の1つを睡眠と推察しこのテーマとした。 ・講演内容が充実していたので、参加者を増やす工夫を更にしていく必要がある。(地域の方等)

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	柏市立西原小学校 柏市西原4-17-1 電話04-7152-3557
テーマ	助産師からのメッセージ～思春期の児童生徒との関わり方～
実施形態 実施主体	中学校区三校合同で実施（西原小・十余二小・西原中） 学校が主体となり実施
日時 会場	平成30年1月13日（土）10:00～12:00 柏市立西原小学校 体育館
日程 流れ・進行	9:30～受付 10:00～開会行事（10分） 10:10～講演（70分） 「助産師からのメッセージ～思春期の児童生徒との関わり方」 11:20～グループ討議（30分） 11:50～まとめ（10分） 12:00～閉会行事（5分）
参加者	地域住民27名（自治会長，町会長，ふるさと協議会役員，民生委員，主任児童委員，青少協役員，青少年相談員，柏市補導員，学校評議員，地域支援コーディネーター）保護者10名（PTA会長，PTA本部役員，保護者） 教職員23名（十余二小，西原小，西原中）
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・直接案内を郵送 ・青少協やふるさと協議会，民生委員連絡会等で参加の呼びかけ，保護者への案内配付
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にまたがる思春期の児童生徒の体の変化等を踏まえた心理についての解説と，保護者，教職員，地域の大人からのアプローチなどについて具体例をもとに講話いただく。その後，地域・家庭・学校の連携についてグループ討議を行い，まとめとして意見の共有を行う。
保護者や地域の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や青少年相談員，青少協，ふるさと協議会等の活動を学校だよりやHP記事，スクールメール等での情報発信や全校集会等でもっと紹介して，児童生徒や教職員に周知してほしい。 ・学校と協働して活動する機会（プール清掃やグリーンボランティア等）をもっと設けて自治会だより等で周知をしてほしい。 ・地域の方が気軽に立ち寄れる場所（コミュニティ拠点）が学校の一角にあるとよい。（高齢者もいるので1階）
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から地域へもっと積極的に情報提供をする必要がある。（HPへの学校行事の紹介だけでなく，学習会講師やボランティア要請等） ・ミニ集会のような三者が顔を合わせる行事をもっと設けてほしい。

その他 (テーマの背景、学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none">・中学校区三校合同での開催として、小中連携の一環として実施している。・テーマについては三校で話し合い、現代的課題を取り上げる。・三校の地域連携の足並みがそろえられる利点がある。
--------------------------------------	--

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	我孫子市立我孫子第二小学校 我孫子市下ヶ戸610番地 電話04-7184-1722
テーマ	「児童のやる気を育む学校、家庭、地域の連携」 ～一人一人の児童が楽しく学校に通うためにできること～
実施形態 実施主体	パネルディスカッション（パネラー：我孫子市教育委員会指導主事・佐藤幸男、適応指導教室「ヤング手賀沼」指導員・菅藤行雄、千葉県スクールサポーター・大野留美）本校の職員である特別支援教育コーディネーターが中心となり、保護者・地域の方々と交流・連携を行った。
日時 会場	平成30年1月18日（木） 15：15～16：40 我孫子市立我孫子第二小学校 木造校舎 会議室
日程 流れ・進行	15:15 校長挨拶及びパネリスト3名の紹介 高速クリッカーを使ってフロアへ簡単なアンケート 15:20 パネリスト3名よりテーマについて意見をもらう。 15:40 パネリストの話聞いた後、高速クリッカーによりフロアへアンケート 15:45 フロアでのグループ懇談（子ども達のために自分ができること） 15:55 フロアでの話し合いをシェアする。 16:10 パネリスト3名からのまとめ 16:25 県生涯学習課の方からご意見・感想等について 16:30 コーディネーターより今日の総括
参加者	教職員28名（校長・学級担任・心の相談員等）保護者10名 地域住民等5名（地域こども会担当者等）県教育委員 合計46名
広報	・保護者宛通知、 ・学校だよりに掲載し地域にも回覧 ・学校のHPに掲載 ・近隣大学へお知らせ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動を通して子どもたちは、喜びと自信と誇りをもてる。そのために子どもたちに寄り添い、力を注いでいく。「喜び体験」のある学校をつくる。（パネリスト佐藤先生） ・地域の将来を担う子どもを育成するために、地域と連携し多面的に子どもを見ることが、学校に楽しく通うことにもつながる。（パネリスト菅藤先生） ・家庭では、常日頃から「話したくなったらいつでも聞くよ。」というメッセージを伝えていくことが大切である。子どもの表情など、発信しているサインを見逃さないでほしい。（パネリスト大野先生）

<p>保護者や地域の方々の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、フランクで開放的である。一人一人の役割・居場所を作ってくれている。楽しく通っている。 ・家庭では寝る前に、子どもの話をしっかりと聞いてあげたいと思った。 ・羊や山羊の飼育活動は、子どもたちにとって思い出に残りよい体験になっている。公園での子どもたちの遊ぶ様子から、人間関係がよくわかる。自分の子と同じように指導していく必要がある。
<p>教職員の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の表情や行動を子どもからのサインだと受け止め、家庭と学校が連携し、課題に取り組んでいけるようにしたい。 ・子どもの変化にすぐに気づき、楽しい学級になるように努力していきたい。
<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、今後の取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の高学年には不登校の児童がいる。時には低学年でも登校を渋る児童がいる。目指す児童像の『元気でやさしい子』となり学級での小さなトラブルも思いやりの心を持って、解決できるようにしていきたい。そのために、保護者・地域の教育力も向上できるよう情報の発信・連携を強化していきたい。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	成田市立桜田小学校 成田市桜田941 電話0476-73-3232
テーマ	食育について
実施形態 実施主体	授業公開、講演会、学校評議員会議と併せて実施 学校とPTAが主体となって実施
日時 会場	平成29年10月13日（金）14:10～15:15 成田市立桜田小学校体育館
日程 流れ・進行	授業公開（5校時） 13:15～14:00 ミニ集会 14:10～15:15 前半は食べることの大切さについて親子で一緒に学ぶ 後半は成田市教育委員会指導主事による講演 全体進行は本校教頭
参加者	教職員 10名 児童 106名 保護者 70名 地域住民 2名 講師 2名 来賓 5名 計 195名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・校長だよりに掲載 ・学校だよりに掲載し、地域にも回覧 ・PTA及び学校評議員への文書で通知
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で学ぶ食育～魚を食べよう～ 「魚を食べると頭のはたらきがよくなる！血液もサラサラ！」 ・講演「心と体を育てる食育」
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・親子でクイズもあり、食育について考える良い機会となった。 ・給食が大好きという子が増えると良い。 ・給食が完食できるようにしたり、嫌いなものでも一口は食べられるようにしたりさせたい。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・その後の給食では、魚の残菜が減った学級が見られた。 ・すぐに解決される課題ではないが、様々な手立てを講じながら、食べることの大切さを伝えていきたい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいきちばっ子『元気アップ』プラン大作戦」を活用し、児童自身が自分の生活習慣について振り返る活動を学校全体として取り組んでいる。 ・朝食欠食の児童はほぼゼロだが、食べることの大切さを理解している児童は少ない。 ・各学年の給食時に栄養士が学級を訪問したり、学級活動の時間を利用したりして、全ての学年で発達段階に応じた食育活動を行っている。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	佐倉市立千代田小学校 佐倉市吉見553 電話043-487-3140
テーマ	「小・中学生におけるお金に関わる諸問題と改善策」
実施形態 実施主体	中学校区小中（臼井南中，染井野小，千代田小）合同開催 授業公開，講演会，意見交換 公開授業・講演会は，千葉県金融広報委員会主催「金融教育公開授業」として実施
日時 会場	平成29年11月25日（土）13：30～16：35 佐倉市立千代田小学校 体育館他
日程 流れ・進行	公開授業（5校時） 13：30～13：15 講演会（生活・経済ジャーナリスト「いちのせかつみ氏」） 14：30～15：40 ミニ集会 15：40～16：30 10グループに分かれての意見交換 グループごとの発表 全体進行は本校教頭，グループごとの司会は臼井南中学校職員， 記録は染井野小学校職員
参加者	教職員（3校）46名 その他 10名 保護者（3校）49名 地域住民 6名 合計 111名
広報	・保護者向け案内文書，学校だより，PTAだより，地域回覧， 金融広報委員会HP及び作成チラシ・校長だよりに掲載
内容	・「金融教育公開授業 in ちば」としての公開授業 ・講演会「豊かな生活・人生を築くための小学生からの金融教育」 ・グループ討議 ①子供たちのお金の使い方についての現状と課題 ②金融教育における家庭や地域の役割等を中心に，授業参観，講演会の話を含めての意見交換
保護者や地域の 方々の意見	・電子マネーの渡し方をどうするか将来的に考えさせられた。 ・お小遣いの使い方を，現金をある程度渡すことで考えさせたい。 ・金銭について，大人が当たり前だと思っていることでも子どもが知らない事が多い。もっと教えていかななくてはいけない。 ・金銭についてすぐに効果が現れないと思うが，考えさせていくことが必要である。 ・お金目的でお手伝いをするのは違うと思う。心を育てる事から始めていきたい。
教職員の意見	・年齢が上がるにつれカードの危険性を教えていく必要がある。 ・物の大切さに気づかせるための普段の生活の中での声かけ，アプローチの仕方を考えさせられた。 ・見えないお金，価値観などの話から，子どもたちに見えるお金を

	<p>理解させる大切さがわかった。</p> <ul style="list-style-type: none">・小さい頃からお金の価値・大切さを知らせていくことが大切だと思った。
その他 (テーマの背景、学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none">・公開授業，講演会を同時開催にすることで，多くの人に参加してもらえるようにした・学校・地域・家庭で協力して子どもたちを見ていく。・金銭問題について日々変わっていくので，子どもへの指導も状況に応じて対応していく必要がある。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	神崎町立米沢小学校 神崎町新385 電話0478-72-3070
テーマ	地域における子供たちの育成について
実施形態 実施主体	人形劇鑑賞会（親子鑑賞会）、意見交換 学校が主体となり実施
日時 会場	平成29年10月20日（金） 13:00～16:00 神崎町立米沢小学校 レインボーホール
日程 流れ・進行	13:00～14:40 人形劇鑑賞会 14:50～16:00 ミニ集会（進行 教頭） ・学校長挨拶 ・県教育委員会挨拶 ・来校者・招待者紹介 ・各地区討議（3グループ） ・発表，意見交換 ・講評 ・学校長お礼の言葉
参加者	教職員 10名 保護者 14名 地域住民 6名 計 30名
広報	・通知文 学校ホームページ
内容	・グループごとに学校職員が進行役を務め，保護者や地域が子供たちとどのように関わっていくかを話し合った。 ・グループごとに話し合った内容を報告し合い，共通理解を図った。 ・まとめとして町社会教育委員会議長と町老人クラブ連合会長より講評をいただいた。
保護者や 地域の方々の 意見	・少人数のメリットを生かし，よく面倒を見てもらっている。 ・通りがかったときに元気よく挨拶をしてくれる。昔から比べると減っているように感じるが，今の時代，仕方ないことなのかもしれない。子供からしても，誰の親，誰の家族かわからなくなってきた。 ・学校行事で交流の機会があり，大事にしてほしい。地域でも，子ども会や祭りなど維持していきたい。 ・「米沢」とは，米が沢山とれる地域にしたいという先人の願いでつけられた。家庭でも，地元を話題にする機会を作してほしい。
教職員の 意見	・「草刈り隊」の組織があるなど，地域の方が学校を応援してくれていてありがたい。
その他 （テーマの背景， 学校の工夫， 今後の取組等）	・年々児童数が減っていく中で，どのように児童を育てていくかは地域との連携・協働が大事である。学校は地域に根ざした教育を進めていけるように，これからも働きかけていく工夫をしていく。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	勝浦市立上野小学校 勝浦市植野元宮田72 電話0470-76-0320
テーマ	通学路の安全確保について
実施形態 実施主体	学習発表会と併せての実施 学校とPTAが主体となり実施
日時 会場	平成29年11月11日(土) 15:00~15:45 勝浦市立上野小学校体育館
日程 流れ・進行	学習発表会 13:15~14:45 ミニ集会 15:00~15:45 情報提供(学校より, PTAより) 意見交換 全体進行は教頭, 意見交換進行は校長
参加者	教職員 5名 市役所職員(防災) 2名 保護者 14名 勝浦警察署 3名 市教委 2名 学校評価委員(区長含む) 2名 合計 28名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を直接依頼 ・保護者宛て通知
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本校児童の通学の現状についての情報提供 ・通学の安全確保について, 保護者に実施したアンケートの結果をもとに意見交換
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・統合を経て, 学区が大変広い。今後も保護者・地域で協力して見守りをしていく必要がある。 ・街灯設置の要望は, 区長を通じて行ってほしい。 ・子どもたち自身にも, 自分の身は自分で守る教育を学校でも家庭でも, できることから行ってほしい。(交通災害, 自然災害の面から)
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報や歩道トンネルの電灯切れ等の際には, 市や警察ですぐに対応してくれている。今後も連絡を密にとっていきたい。また, 日々の保護者・地域の方々による見守りは大変ありがたい。これからもお願いしたい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2度の統合を経て学区が広くなり, 80%はスクールバスでの通学。バス停から自宅までは人気のない道である児童が多い。 ・街灯の設置等の要望について, 具体的な手順を共通理解できた。 ・ハザードマップを活用した避難方法や場所の確認をしていく。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	大網白里市立大網小学校 大網白里市みどりが丘3-18-3 電話0475-72-0064
テーマ	安心・安全な学校づくりをめざして
実施形態 実施主体	講演会および全体会での意見交換 学校が主体となり実施
日時 会場	平成29年9月2日(土) 13:30~14:50 大網白里市立大網小学校 多目的ホール
日程 流れ・進行	【第1部】講演会(県警察署) 13:35~14:05 【第2部】意見交換 14:05~14:45 (1)参加者紹介(2)意見交換 全体進行および意見交換コーディネータは、教頭
参加者	警察署関係1名(講師) 教職員17名 保護者12名 教育関係者3名(市教委) 地域住民11名(区長・防犯パトロール隊・交通安全推進隊)
広報	・出席を直接依頼 ・通知文(関係者・全保護者)
内容	【第1部】「安全・安心な地域づくりをめざして」 市内の犯罪情報と被害防止のアドバイス 【第2部】意見交換 ・防犯パトロール隊・交通安全推進隊からの活動の紹介と協力依頼 ・学校からの防犯マップ作成の紹介 ・PTA本部からの親子で作成した危険看板の紹介と協議
保護者や地域 の方々の意見	・不審者対策で「こちらからの声かけ」が効果的である。 ・本年度新たに親子で危険看板を作成した。子どもたちの手で設置まで計画をしているので、地域の方に協力してほしい。 ・子どもたちの手作りであれば、目に付くし、大切にしてくれると思う。市の広報でも取り上げてみてはどうか。 ・子ども110番について、もっと周知し広めることが安全につながるのではないか。 ・何より子どもの命が大切。学校・地域・行政でできることを見極めて取り組むことが大切。
教職員の意見	・4年生の防犯マップづくりでは、地域の方々に教えてもらいながら危険予知・回避の観点を学ぶことができた。 ・学校・地域・PTAの取組が共通理解できてよかった。今後とも横のつながりを大切に、連携を図っていきたい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	・ミニ集会後、子どもが危険看板を設置している様子が市の広報誌11月号に掲載され、活動を周知することができた。 ・ミニ集会の様子を学校だよりで紹介した。 ・交通安全推進隊等の、学校の安全に関わっている方々を招き、活動への感謝を伝える会を開催する予定。 ・子ども110番の加入の案内を配付する。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	九十九里町立九十九里小学校 山武郡九十九里町小関1797-1 電話0475-76-2071
テーマ	第5回家庭教育学級 (スマホ・ケータイ安全教室, 給食試食会)
実施形態 実施主体	授業参観も併せて実施 他行事(スマホ・ケータイ安全教室, 給食試食会)とのセット 学校が主体となり実施
日 時 会 場	平成30年1月24日(水) 11:30~13:00 九十九里町立九十九里小学校 音楽室・会議室
日 程 流れ・進行	11:30 スマホ・ケータイ安全教室(音楽室) 講師:NTTドコモ社員 対象:6年生児童, 保護者, 地域の方々 12:15 給食試食会(会議室) ・本校の児童のスマートフォン・携帯電話の利用状況についての実態について報告 ・参加者との意見交換
参加者	教職員 6名 保護者 30名 地域住民 3名 合計39名
広 報	・通知文 ・学校だより
内 容	・スマホ・ケータイ安全教室では, 実際のトラブルの例を紹介しながら, SNSやLINE等の良い点や, 危険な点について児童との話し合いを通して指導した。 ・給食試食会では, 地域の方を招いて給食の試食を行なうとともに, 本校児童のスマートフォン等の利用状況について説明を行い, 意見をいただいた。
保護者や地域 の方々の意見	・スマートフォン等を児童に持たせる際には, それぞれの家庭の実態に応じてルールを決めることが大切である。 ・フィルタリングをかけることはとても大切である。 ・携帯電話の長時間利用による健康被害が心配である。
教職員の意見	・調査した児童の半数以上がスマートフォン等を持っている。 ・LINE利用によるトラブルがすでに起きている。 ・家庭でのルール作りは大切である。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	・スマートフォンの利用によるトラブルが小学生の間でも起きている。 ・授業参観や給食試食会と併せてミニ集会を開催することにより, 保護者や地域からの参加者が増えるように計画した。 ・フィルタリングの利用について積極的に呼びかけていく必要がある。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	市原市立国府小学校 市原市村上1402-1 電話0436-21-0576
テーマ	東海4校 学校・家庭・地域を結ぶ集会 「e-ネット安心講座」
実施形態 実施主体	市原市立東海中学校区（東海中、東海小、海上小、国府小）合同開催 e-ネットキャラバン講師による講演会を実施 学校が主体となり実施
日時 会場	平成29年8月26日（土） 14:00～15:30 市原市立国府小学校 図書室
日程 流れ・進行	ミニ集会 14:00～15:30 ・進行は本校教頭、総務省発行の「インターネットトラブル事例集」より、「子供にスマートフォンを持たせる前に」のチェックシートを配布し、保護者自身が意識して行動することの内容を確認した後、講義を受け、講義後質疑応答を実施。
参加者	教職員30名（各校の校長および教職員） 保護者20名 教育関係者2名（千葉県教育庁、南房総教育事務所職員） 地域住民5名 合計57名
広報	・各校で保護者宛て案内文書を配付 ・出席を直接依頼
内容	・保護者にとっても興味深い「スマホやパソコンの使用」について、講師から資料を用いながら講義を受ける。 ・子どもとの関わりを考えながら、使用する際の注意点等について確認する。
保護者や地域 の方々の意見	・スマホの使い方について、今後保護者も勉強する必要がある。 ・子どもの成長とともに、インターネットの使い方も変わり、正しい使い方を地域も含めて考えていく必要がある。 ・子どもとスマホの使い方について約束をし、見守っていく必要がある。
教職員の意見	・便利な機器であるからこそ、使い方を間違えると恐ろしい武器、凶器になってしまうことをしっかりと教えていくことが必要である。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	・中学生だけでなく、小学生も所有率が高まっているものだけに切実性があるテーマである。 ・学校・家庭・地域を結ぶ集会としてふさわしい内容であった。 ・会場を工夫して参加者を増やす工夫が必要である。